

キラリ



明倫っ子

明倫保育所

vol. 2

保育所（園）を紹介するコーナーです。

子どもたちはどんな遊びや生活をしているのでしょうか。

また、保護者の方は保育に何を求めているのでしょうか。

子どもをよい子に育てたい——。そのあまり、声をかけ、世話をやきすぎて、依存心の強い、自立できない子どもが増えているといいます。

子どもの将来を思うなら、自分で考える力、周りとうまくやっていける本物の「生きる力」を身につけさせるのがわたしたちの務めです。

子どもの内なる能力を引き出し、子どもが自ら考え、答えを出せるそんな保育を進めたいと考えています。



保育所近くの串小川…

上流には水道の水源がある清流です



清流串小川



魚を追いつむ



石投げあそび



魚釣りごっこ



色石さがし



生き物さがし

本物に体当たり、 たくましく生きる 術を磨きます

ふるさとの自然—水、魚、石、木、葉っぱなどを相手に遊びが無限に広がります。

便利すぎる生活で眠っていた子どもたちの鋭い感覚を呼び覚まし、光で、音で、においで、味で、そして肌の感覚で自ら答えを見出します。

わたしたちは、ときにはそっと手をさしのべて、見守ります。



とれたてのきゅうりをガブリ。
甘くて、みずみずしいキュウリに
思わず「おいしい！」。
日頃きゅうりを食べない
子ども食べられるよう
になりました。

にが~い、ゴーヤー。
黄色く熟したものは
割ってみると中から
真っ赤な種が
出てきて
ビックリ。
そして
なんと
甘いん
です。

春の苗植え。トマトや
キュウリを植えました。

水やり、
草取り。
世話は
欠か
せま
せん。

ゴーヤーと
アサガオの
グリーンカーテン。
一生懸命育てます。

明倫保育所の庭には畑があり、プチトマト、
インゲン、かぼちゃ、ピーマン、キュウリな
ど、いろいろな野菜を作っています。

ここで育った野菜は、子どもたちが収穫し
て給食の材料に使っています。ブルーベリー
やイチジクの木もあり、ときにはその実をひ
とつまみー。甘酸っぱいおやつにしばらく暑
さを忘れます。

また、ゴーヤーやアサガオのグリーンカー

テンで西日の当たる部屋をガード。おかげ
でいくぶん涼しげです。

他にも近くのおじいちゃん、おばあちゃ
んが野菜を分けてくれたり、芋ほりやみか
ん狩りに誘ってくれます。いつも、地域の中
で温かく見守ってもらっています。

こんな体験を通して、子どもたちは、自然
を愛し、ふるさとを愛する心を育ててい
ってくれることでしょう。



明倫保育所 保護者会
会長 藤本 良晴さん
(南前川)

少人数の良さを活かして

今の保育所は、おもちゃ
や遊具が少なくなったと
感じる。一方で、家には
それなりのおもちゃがあ
り、そのギャップで最初
はとまどっていた子ども
も、遊び方を見つけると
保育所に行くのが楽しく
なっていくたよう。

明倫保育所にはプール
がなく、今年は町民プー

ルなどに行くことができ
て、子どもたちも喜んで
いた。きれいな串小川で
も遊べ、両方経験できて
すばらしい。

明倫は人数が少ない分、
みんなで協力する団結力
があり、年下を思いやる
心も育って良いので、そ
れをこれからも大切に成
長していったほしい。